

と き 令和6年1月18日(木)
午後1時30分～2時20分
ところ 産業文化会館 2階 会議室
(千野、宮本、佐藤(八)、大平、新野、柳澤、
須貝(啓)、佐藤(行)、遠山、宮下、小川、
緒形、丹後、西村、齋藤、平野、新田見、
須貝(裕)、前田、竹前、柳沼)
欠席5名(有松、伊藤、渡辺(ト)、富田、
傳)

【合同会議】

1 開会あいさつ

2 合同会議議題

(1) 養護老人ホームの入所措置の判定・報告について 判定案件なし

【事務局】 前回の会議以降、書面判定により5名の入所があり、現在、30名を措置している。

(2) 胎内市高齢者保健福祉計画(案)について 資料1

【事務局】 資料1に沿って説明。

介護保険サービスについては、介護保険運営協議会で審議している。支給の実人数の減少傾向等のサービスや事業もあるが、高齢化や一人暮らしが増える。また担い手不足が進行していることから担い手づくりにも力を入れていく。今あるサービスは現状のまま今後3年間継続していく。

(千野会長) 寝具消毒や配食、雪かきは要援護者世帯への見守りをより一層の効果があることが考えられる。何かあった時の連絡先について、研修等による周知や災害時の顔の見える関係作りができるようにしていくのも良いと思う。

【事務局】 配食はボランティアにより担っている。気になる方が不在の時は、健伸館へ情報を集約し連絡を行っている。このような取組みを行っていることで、顔の見える関係は少しずつ出来ている。

(柳澤委員) 高齢者福祉・介護予防・介護保険 サービス便利帳を検索するが探しにくい。障がいの便利帳は検索しやすいので、改良してもらいたい。

【事務局】 胎内市のホームページで探しやすいよう、掲載場所等の改良を早急に行う。

(柳澤委員) 軽費老人ホームA・B型について、1990年代から作られていない。おそらくケアハウスと統合されたかと思う。そのため計画を見直す時期ではないか？

【事務局】 高齢者保健福祉計画は法定計画であり、新潟県の計画に沿っているため規定がある。またケアハウスとの統合されたかどうかについて、今後確認を行い、必要であれば修正を行う。

(柳澤委員) 民生児童委員協議会の現状の課題において、「民生委員制度が一般市民にやや分かり難く」となっているが、民生委員の役割が分かっていないと思われる。

【事務局】 このように記載を改める。

(次ページへ)

(3) 胎内市地域包括支援センターの事業運営の見直しについて **資料2**

【事務局】資料2に沿って説明。意見なし

(4) 令和5年度地域マネジメント力強化支援事業についての報告 **資料3・当日資料**

介護保険制度の効果的な実施 計画の基本的な考え方と施策の展開について

【事務局】資料3・当日資料に沿って説明。

新潟県のモデル事業として行い、5回の支援を受けた県内初の事業。ロードマップは目標に対し、3年間でどのように落とし、実施していくか検討するものになる。今後、事業計画がこちらに載っていくことになる。

3 その他

【事務局】事業計画について、2月上旬に本日の会議で議論したものを盛り込み、冊子を郵送する予定。その後、検討いただき修正等を行ったうえで最終的なものとする。

(須貝(啓)委員)冊子ではなく、変更箇所のみで良いのでは？

【事務局】参加している委員が市民、医療機関等のそれぞれの専門分野があり、関心箇所も違うため冊子で送る。各々の立場に関係するところに対し、意見をいただきたい。

次回の運営協議会は3月中旬に行う予定。

(閉会)